

令和6年度 呉市在宅医療・介護連携に関する相談実績

令和6年4月～令和7年2月（2月1日現在）

1 新規相談件数

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	0	4	1	1	2	2	1	0	1	0	0		12

2 相談者の所属機関及び相談内容

所属機関		職種		相談内容	
区分	件	区分	件	区分	件
高齢者相談室	6	ケアマネジャー	4	医療・介護連携の調整	3
居宅介護支援事業所	1	看護師	3	医療機関の情報提供	4
訪問看護ステーション		保健師		介護施設の情報提供	
介護サービス事業者		介護職		地域資源の情報提供	1
病院・診療所	1	医師		在宅医療・在宅療養	
歯科		歯科医師		入院支援	
薬局		薬剤師		退院支援	1
その他	4	医療ソーシャルワーカー	1	その他	3
		リハビリスタッフ			
		その他	4		

3 呉市在宅医療・介護連携に関する相談内容と対応

別紙参照

4 令和6年度の振り返り

相談窓口を開設して3年目、相談件数は令和4年度23件、令和5年度12件、令和6年度12件であり、主に高齢者相談室や地域医療連携室から医療機関の情報提供に関する相談が最も多かった。また、市民からの相談も増加（令和4年度1件、令和5年度2件、令和6年度4件）しており、在宅療養を希望する相談が多かった。

相談支援を通して、本人・家族の意向に沿った退院支援や療養支援における情報提供支援に課題があるのではないかと感じる。本人・家族の意向や判断能力を把握するとともに、本人・家族共に、どのような情報を得て意思決定に至ったのか、そのプロセスを確認し、過不足のない、誤認のない情報提供や意思決定支援を行うこと、その意思決定を関係者間で共有することが必要である。

5 令和7年度に向けた取組

・相談支援を通して医療・介護関係者や市民の声を聞くことができるため、引き続き相談窓口の周知活動と利用促進に努める。

・高齢者相談室や包括的支援推進員と連携・連動し、日常生活圏域の実情に応じてきめ細やかな相談支援を行う。また、相談支援からみた相談者の不安や悩み・困り事等の実態と対応策を整理・検討する。